



そねっ子

2024. 3. 8.

3学期号 1



曾根小 HP

3学期をふいかえって...

3学期 始業式

1月9日(火) 3学期の始業式を迎えました。

教室、校庭、運動場には子どもたちの元気な声が響き、学校は毎日活気づいています。学年まとめの学期・・・子どもたちの笑顔とやる気に溢れた日々、一人一人が自己の成長に喜びを感じられるような締めくくりを目指して指導・支援に邁進していくよう私たち教職員も心を新たにしたい一日でした。

始業式では、子どもたちに、3学期は「0学期」・・・次の学年になる準備をする学期。だから、これまでに習った勉強の復習をしたり、学年が上がるという心構えと新しい目標をもってほしいという話から始めました。

また、元日に起きた能登半島地震に触れ、報道を見て感じていること、被災された地域の方々への思いを伝えるとともに、曾根小の子どもたちにも感じてほしいこと、考えてほしいこと、大切にしてほしいことなどを話しました。

「どんなことに対しても『自分ごと』として捉えて考え、自分にできる行動をすることが自分も周りの人も大切にすることに繋がるんだよ。」

「相手の人は、どんな思いをしているのだろう」「どう感じているだろう」と思いをはせながら、「自分なら、どう思っているのだろう」「どうしているのだろう」と想像し、そして、「自分に何ができるのか」「どうすべきなのだろうか」と考えて行動する。この3つの流れが、物事を『自分事』としてとらえて行動することなんだよ。と・・・小さい学年には、まだ少し難しい内容だったと感じていますが、子どもたちのこれからの成長には欠かせない大切な力だと思いながら話をしました。



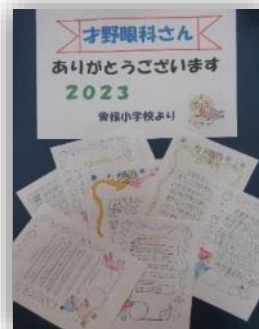
そのためには、

「才野文庫」

最後に、学校医の才野侑子先生より、今年度もたくさんのお本をご寄贈いただいたことを紹介しました。

「才野文庫」として図書館に置いてあり、いろいろな学習・読書にどんどん活用してほしいと伝えました。

図書委員会の児童が、全校を代表してお礼の手紙を作成しています。この学校だよりとともにお届けし、感謝をお伝えします。才野先生、毎年本当にありがとうございます。



大谷選手からの贈り物



加えて、メジャーリーグで大活躍されている大谷翔平選手から全国の小学校に届いたグローブの紹介もしました。共に届けられた大谷選手からのメッセージも読みました。

そして、そのすごさや大人気の秘密は、ピッチングとバッティングだけではないこと・・・グラウンドに落ちているゴミをいつも進んで拾っている姿、疲れているときでも笑顔で対応する姿、決して審判の判定に文句を言わない姿など、日頃の彼の誠実な行動、つまり、野球の技術面だけではなく、気持ちや考え方の面、道徳的な心、毎日の生活ぶりこそが人々の心を感動させているのであり、物事を『自分事』としてとらえる姿も、きっと超一流なのだろうと話しました。

寄贈されたグローブは、1週間ごと、6年生から順に各学年に回していき、子どもたち全員が触れて、使って、感じてもらえるようにしました。使い方・遊び方についても、学級で話し合い、子どもたち自身で主体的に考えてもらうようにしました。



曾根小学校 開校151周年記念集会

1月15日(月)朝、全校児童が体育館に集まり、曾根小学校の開校151周年を祝う集会を行いました。

昨年度は、150周年の節目の年となるため、岡山市議会議員 宮武 博 様をはじめ、多数ご来賓の方々にご臨席いただき、式典と記念公演(人形劇)を開催しましたが、今年度からは、子どもたちの主体的活動の一つとなるよう計画し、会の進行や始めの言葉・終わりの言葉を6年生が担当しました。



まず初めに、校長が全校児童に向け、体育館の背面壁にスライドを大きく映しながら「曾根学区・曾根小学校の歴史」についての話をしました。

次に、学校へのプレゼントⅠ——「曾根小の好きなところ・自慢・思い出の場所」を全校児童がメッセージカードにし、学年ごと模造紙に張り付けていきました。



そして、学校へのプレゼントⅡ——お誕生日祝いの歌として「曾根小学校校歌」を全校で心を込めて歌いました。

限られた短い時間の中での集会でしたが、学校にとっても、子どもたちにとっても、心に残る温かい開校記念となりました。

子どもたち自身が、自分たちの学校を愛して大切にすることをもち、学校の歴史や引き継がれてきたものに気付いたり、よりよい学校生活が送れるよう主体的に考えたりできる場を、今後も大切に続けていきます。



子どもたちの主体的活動を広げて

余儀なくされてきたコロナ禍の制限も、緩和されて10ヵ月余りが過ぎ、学校行事や児童会活動も以前の活気を取り戻してきています。

毎月第2週に興除中学校区で取り組んでいる「あいさつ運動」も継続してがんばっています。1月は

中学年、2月は低学年、そして3月は高学年が担当。朝の校庭に、

大きく元気なあいさつの声が響き渡り、とても心地よい光景となります。

1/26(金)昼休みには、保健体育委員会が中心となって体育集会が行われました。寒さに負けずしっかり体を動かそうと、運動場全面を使つての「全校〇×クイズ」・・・元気に走り回る姿が印象的でした。

今年度から始めている月初めの児童朝会「ハッピーモーニング」・・・chromebookを活用した全校放送は、各学年が担任の先生と児童で企画から運営をしています。1月は4年生、2月が6年生、3月が5年生の担当で

したが、どの学年もアイデアあふれるユニークな放送をしてくれました。

2/7(水)には、図書委員会児童が曾根保育園へ絵本の読み聞かせに行きました。多少緊張気味の子どもたちでしたが、しっかり練習をしていた成果もあり、笑顔と共に堂々と読み聞かせをし、自作のプレゼントも渡しました。園児の笑顔がこの取組のすばらしさを物語っていました。



1月 あいさつ運動



体育集会



2月6年生
ハッピーモーニング



曾根保育園読み聞かせ

3学期の参観日



1年生体育「とびばこあそび」



2年生図工「カッターナイフ名人」



3年生国語「漢字の組み立てと意味」



4年生算数「表を使って考えよう」



5年生家庭科「生活を支えるお金と物」



6年生理科「電気と私たちの暮らし」

1/19(金)新年が明けて最初の授業参観では、この1年間で大きく成長した姿で学習に臨む子どもたちの様子をご覧いただこうと、どの学年も教科学習をご参観いただきました。

挙手してしっかりと発表する姿や黒板やノートに向かう眼差し、また、学年によってはchromebook(ICT)を活用して学ぶ様子もご覧いただきました。

2/21(水)今年度最後となる授業参観では、どの学年も、1年間の成長の証となる授業内容・発表、もしくは親子でのふれあい交流活動でしたが、子どもたちは皆、ニコニコ顔でも張り切っている様子でした。

「見られる」「見てもらう」というのは、子どもたちにとってのモチベーションや大きな活動エネルギーとなります。そして、がんばりを認める声かけや励ましの言葉の一つ一つが成長していく糧となっています。

参観日など、子どもたちのさまざまな学習活動を保護者・地域の皆様にご覧いただき、学校全体がどこか活気を帯びて温かな雰囲気がつくれる行事では、その意義と価値のひとつがそこにあると言えます。

それぞれのご家庭では、お子さんのがんばりに、どのような声かけをしていただいたのでしょうか？

速度や得手不得手などは、個々に違っていても、子どもたちは一歩ずつ成長をしています。

大人も、そこをしっかりと見つめて支援していきたいものです。



1年生生活「昔遊び」



2年生生活「あしたへジャンプ」



3年生総合「昔根のお宝発表会」



4年生総合「調べたことを発表しよう」



5年生総合「防災教室」



6年生生活「親子ふれあい」



ひまわり1 国語の発表

いろいろな学び ～ ゲストティーチャーを招いて ～

1/16(火)1校時、3年生が総合的な学習「駐在さんの仕事」について、曾根駐在所の川口さんをお招きしてお話を聞きました。

警察官の仕事やその大変さなど、現職の警察官のお話は、まさに生きた学びとなりました。子どもたちはみな、興味深く耳を傾け、うなずき、メモをとったり、時に反応良く思いを言葉にして質問したりしながら、熱心に学んでいました。



R6.2.14. 5年生総合「防災教室を開こう」

2/14(水)5校時、5年生が総合的な学習で、防災についてこれまでに調べて学んできたことのまとめとして、3年生に向け「防災教室」を開きました。前回からご指導いただいている学区在住の防災士である小寺さん(現連合町内会長)にもご来校いただき、指導・講評をいただきました。

災害カルタや段ボールハウス、防災クイズ、防災グッズづくりなど、自分たちなりの工夫で学びを形にし、3年生に体験してもらいながら防災に関する知識を分かりやすく伝えることができていました。

2/29(木)2校時には、学校薬剤師の加地先生にご来校いただき、6年生で「薬物乱用防止教室」をしていただきました。

「薬物乱用」とはどのようなことなのか、「危険ドラッグ」とは何か、その危険性と恐ろしさなどを、ワークシートや映像、簡単な実験なども交えて教えてくださいました。

また、飲酒や喫煙の影響にも触れてくださり、どんどん大人に近づいていく自分たちの健やかなる成長、健康や安全について改めて考え、大切なことを学ぶことができた時間でした。



R6.2.29.
6年生「薬物乱用防止教室」



R6.1月 保健指導「アンガーマネジメント」

外部講師ばかりではなく、校内でも養護教諭の三宅先生が、担任の先生と協力し合いながら、年間を通じて計画的に保健指導(健康指導)を各学年に行っています。

(詳細は「ほけんだより」～キラキラほけんしつ～等参照)

3学期は、学期始めの身体測定の時間に「アンガーマネジメント(6年生にはストレスマネジメント)」の保健指導を実施しました。

自分の感情(特に怒りの感情)と上手につき合う方法については、子どもの頃から学んだほうがよいと言われています。

各学年の発達段階や現状に応じて内容も指導法も工夫し、1～4年生の授業では、アンガーマネジメントに関する絵本も活用して理解が図られました。ワークシートも学年に合わせて準備して活用しました。

授業後の子どもたちの反応も、「実際にやってみようと思う」などの感情をコントロールする方法に対する感想も聞かれ、こういった心の教育を積み重ねていくことも重要であると感じています。

第3回 地域協働学校運営協議会

2/15(木)第3回「曾根小学校地域協働学校運営協議会」が開催されました。

学年末を迎えて、さらに頑張っている子どもたちの様子をご参観いただいたり、「教育に関する総合調査」結果や新体力テスト調査結果等をもとに、今年度の成果や課題について報告・協議をしたりしました。

また、来年度の学校運営基本方針や年間計画等についても説明を行い、承認及びご支援ご協力の依頼を行いました。

ご多用の中、ご参加くださった委員の皆様、ありがとうございました。

